

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	のびっこらんど田村（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 8 日		～ 令和 7 年 1 月 27 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46名	(回答者数) 33名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 8 日		～ 令和 7 年 1 月 18 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 4 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの発達状況に合わせ、多職種（保育士・児童指導員・言語聴覚士）が連携し、個別・ことばの支援ができる。	その日のお子さんの体調や気持ちに合わせ、お子さんと話し合いながら課題の順番の入れ替えや内容、課題量の変更をしている。学習中心(授業の振り返りやソーシャルスキルトレーニングなど)になるため、お子さんが楽しく学べるよう興味・関心のあるものを使用したり、作成したりしてモチベーションが上がるようにしている。	お子さんの興味・関心や学習状況を把握しながら、楽しくお勉強できるよう工夫していく。
2	行事の開催。 (普段の療育はスタッフと1対1のため、行事を開催することでお子さん同士の交流する機会が増える。)	お子さんの「やりたい」「やってみたい」気持ちを大事に、スタッフは見守りながら活動へ参加できるようにしている。	お子さん・保護者様にアンケートを取り、行事の設定をしていく。社会支援の取り入れなども検討していく。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	未就学児中心の集団支援を行っているため、学童児の利用枠が少ないことに加え、放デイの集団支援をやっていないこと。	児発と放デイの時間が被らない枠で設定していることと、夕方の時間しか設定できていないこと。毎年、年長児が多く、利用の仕方など検討していく必要がある。	サービス提供時間の見直しや人員配置の検討が必要。
2	利用状況を保護者様へフィードバックする時間はあるが、フィードバック時間が短いこと。	個別と個別の間が5～10分しかないため、ゆっくり話す時間がない。	ゆっくりお話しする時間を設定していく。
3			